＜第４０００回＞　　**みんなで踏破！青雲会日帰り６０山　No.101**

目的地：金剛山・大和葛城山
担当者：大貫　晃
実施日：2020 年 2 月 16 日(日)
形　式：ハイキング（雪山ハイキングから変更）
費　用：¥2,940.-（阿部野橋発着）
参加者：３名
大貫　晃・横山寿美・時本長裕

行　程：
天気：雨一時曇り
近鉄大阪阿部野橋駅(7:14 河内長野行)⇒(7:56)河内長野駅(8:15 金剛山ロープウェイ行バス)⇒(8:42)金剛登山口(9:10)→(10:40)金剛山頂上広場（昼食）→(11:20)葛木神社(11:30)→(13:10)水越峠→(14:30)大和葛城山高原ロッジ→(14:45)大和葛城山→(15:00)高原ロッジ(お茶)→(15:25)葛城山ロープウェイ(15:30)⇒ロープウェイ前(15:40)→(16:30)近鉄御所駅（解散）

感　想：
　金剛の霧氷の美しさを見たく、企画しました。併せて、冬には行ったことのなかった大和葛城山を組み合わせました。冬の行程としてはややハードですが、若手も増えてきていますし、山歩きの楽しさを経験して頂けたら幸いとの思いでした。ところが生憎の暖冬‼　半月前から気を揉んでいましたが、風雨の予報は変わらず残念^^;　山の天気は変わりやすく、雨の山行も嫌いではないので、中止にする思いは無かったのですが、早くから参加を希望して頂いていた横山さんと時本さんとの三人山行となりました。
　金剛登山口の駐車場で準備をしてユッタリ登りだしました。小雨交じりでしたが、山好きの個人やパーティが普段よりは少ないですが、千早本道を行き交います。5 合目で少し休憩したほかは個人的に好きなユックリペースでほぼ休みなく、WebCamera のある山頂広場まで登りました。時本さんにはこれ以降も時々先行からのスナップを撮っていただき感謝です。有難うございました。
　山頂広場からは眺望を期待したのですが、ガスがかかり残念。少し早いですが、雨がしのげるベンチで昼食としました。その後、集合写真を撮るべく葛木神社まで登りました。さて、ここからは一の鳥居からダイトレコースを下ります。秋のダイトレではこの長い階段に閉口するところですが、下りは楽勝。スリップや大きな段差には注意しました。旧パノラマ台付近に来ると雨脚も弱まり、靄のかかる奈良盆地方面が眺望できました。今回の山行で最も和む地点で良かったです。その後、林道まで下り、金剛水のベンチで少し休憩しました。ユックリ林道を水越峠まで下り、そこの東屋で大和葛城山へ登り返すか相談しました。雨脚はそれほどでもないのですが、山頂付近は強い風が予想されたためです。時本さんからはリーダー一任と言っていただきました。私だけであれば時間も早かったので、決行即断でしたが、経験浅い横山さんが気がかりでした。しかし、そこまでの歩みに疲れた様子もなく、昨年のボッカも皆勤賞。松岡さんの大峰にも行かれているので、脚力は大丈夫と思い、前進しました。予想通りの健脚であの急登も煽られるぐらいの勢いでした。
　大和葛城山は予想通りの強風でした。高原ロッジに荷物を置かせていただき、山頂に向かいました。予想通り三脚は無理な強風で、代わるがわるに記念撮影をしました。水越峠からの登り返しでは他の登山者もおられましたが、山頂では我々だけでした。その後、高原ロッジで美味しいコーヒーを頂き、ホッとしました。横山さんはロッジは初めてのようで、宿泊もできる大きな施設に感心していました。
　当初は 17 時のロープウェイを予定していましたが、15 時半に乗ることができました。ロープウェイ前のバスは 15 時 50 分があると調べていたのですが、季節運行で、冬場は無し。17 時 15 分の便まで 1 時間以上待たねばならないということで、近鉄御所駅まで 1 時間弱歩きました。長いテクテクでしたが、横山さんは今回の山行を気に入ったようで、その笑顔に救われました。御所駅で解散しましたが、達成感のある楽しい例会となりました。これは参加メンバーに負う所が大きく、この場を借りて感謝申し上げます。